

第53回熊本県芸術文化祭参加
第7回阿蘇市文化祭開催



会場風景



コーラス

フラダンス



児童・生徒作品



展示風景



噴煙

第12号
 阿蘇市文化協会
 広報
 〈印刷所〉
 りんどう印刷

第7回阿蘇市文化祭
 阿蘇市文化協会
 主催



岩戸神楽

今年も市民文化の祭典「第七回阿蘇市文化祭」が阿蘇市体育館において十一月二日と三日、盛大に開催されました。会員の一年間の研鑽の成果をステージで百十一組の人達が、また一、〇〇〇点を超える作品が展示されました。オープニングは波野岩戸神楽保存会の「五穀舞」で始まり、華やかな舞台に感嘆の声、佐藤市長はじめ、市議の皆さんも出席を頂きました。今年「あそ街角ギャラリー」にも会場を広げました。

新年明けましておめでとうございます。第七回目の文化祭ご協力ありがとうございます。市民文化祭初の「あそ街角ギャラリー」を活用しての展示会も好評を得ることができました。

一昨年の口蹄疫、昨年の東日本大震災と災害が忘れる間もなく襲ってくる昨今、当たり前、普通ということがいかに大切なことか、日々感謝の念を持ち、本年も会員の皆様それぞれの自己実現に向けての活動をしつかり支え、文化の薫り高い阿蘇市づくりに邁進して参りますので、皆様方のご支援ご指導ご協力をお願い申し上げます。

ご挨拶



阿蘇市文化協会
 会長 小嶋 維男

ご挨拶



阿蘇市長
佐藤 義興

新年、あけましておめでとうござい
ます。

阿蘇市文化協会の皆様方におかれま
しては、輝かしい新年をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。また、日頃か
ら阿蘇市の文化芸術を通じて住みよい
まちづくりに積極的なご支援ご協力を
いただき、厚く御礼を申し上げます。

文化は、人間の感性を磨き、人と人
との交流を生み、生活の向上を充実さ
せるとともに生きる支えになるのです。
また、地域活動のあらゆるところで影
響を与え、まちづくりや地域の発展の
礎となり、ひいては市民の方々の誇り
や愛着を育むものでもあります。

文化の継承は新たな創造を生み、そ
れぞれの世代が担っていく使命でもあり、
文化協会はその中心となる存在だと思
っております。

皆様におかれましては、これからも文
化協会の精神を柱に日々自己研鑽され、
文化芸術や郷土芸能の発展と伝承に、
尚一層のお取り組みをされることをご
期待申し上げます。

結びに、阿蘇市文化協会の皆様方に
とってこの新しい一年が、更に発展、
ご活躍をされる素晴らしい年になりま
すことを祈念し、新年の挨拶にいたし
ます。

観日茶会とコンサートを楽しむ

阿蘇絵画「火曜会」 西村 伎久乃

初秋の夜風と雲間の名月を讀え
ながらお茶を頂きました。先に着
いていた妹夫婦はすでにお茶席を
後にしていました。私につき合
って妹ももう一度お茶席につき一
緒にお茶を楽しみました。「花よ
り・・・」というところでしょう
か。

七時からのコンサート、今回は
ソプラノ矢野智恵子さん、坂本厚
子さん、ピアノ山田貴世さんの三
人の出演でした。音響効果のない
会場なので、もったいないことで

したが、それでも本格的な声楽家
の生の声を目前で聞く体験はぞく
ぞくするものがあります。良く知
られた日本の歌、イタリアの歌も
体いっぱい歌い上げるその音の
響きはライブならではの魅力でし
た。会場の皆さんも圧倒されたの
ではと思います。

次回も素晴らしい観月茶会にな
りますよう期待しています。来年
もまた来ようねと妹も言っており
ます。ありがとうございました。

文化協会

「博多座舞台見学」

福山 千保

パッチワーク
七月二十五日、阿蘇市
文化協会による研修旅行で、
福岡の博多座に「天璋院篤姫」
の舞台見学に参加させてもら
う機会を得た。大型バス二台
に分乗し、博多座十一時開演
に間に合うために、協会の役
員の方々のお世話も大変だっ
たと思う。

「篤姫」については、テレ
ビでも放映され、本を読む機
会もあったので、自分なりに
多少は解っているつもりでいた。
いよいよ宮尾登美子原作の「天
璋院篤姫」の舞台が開幕した。

篤姫を演じる国仲涼子さん、
希代の名君島津斉彬公を演じ
る西郷輝彦さん方のすばらし
い演技に圧倒され、次々と変
わって行く舞台装置のすばら
しさにも圧倒された。於一（後
の篤姫）が乳母の菊本に「人
はなぜこのような火山灰の降
るような危ないところに住み
続けているのだろうか。」「真っ
直ぐに、逃げずに、それに向
き合って、全うすることが美
しい生き方なのだ。」と答える。
このような考え方は、作者
の宮尾登美子さんならではの
会話だと思いが、今の世
の生き方にも通じることだと
思っで見せていただいた。徳
川十三代將軍家定の正室とし



ての波瀾万丈の物語、出演さ
れている人々はもちろんだが、
場面場面が変わっていく舞台
のすばらしさにも感動した数
時間だった。
帰りのバスの中で、会員の
みなさんが「よかったね。」「感
動したね。」といった言葉をか
わしながら帰途についた。

大阿蘇火の山まつり 総踊りに参加しました

阿蘇市文化協会会長
小嶋 維男

火急な呼び掛けにも拘わらず参加いた
だきました会員の皆様、最後まで汗だく
になって踊られるそのお姿、皆さん若い
まだ元気モリモリ!! 私の方がくたびれ
てしまいました。

新たに「大阿蘇火の山まつり」として
開催された市民総踊りに、文化協会へも
参加依頼がありましたので、初めての試
みではありましたが、一人でも多く参加
して祭りを盛り上げようと頑張りました。
本年も文化協会をアピールするに適當
と思われる機会があれば積極的に参加し
活動したいと思っておりますので、ご協力宜し
くお願い申し上げます。



大阿蘇火の山まつり
阿蘇市文化協会

ステージ部門

文・化・祭

展示部門

新年明けましておめでとございます。
 昨年、ステージ委員長の大役を仰せつかりました。第七回文化祭は百十一組のステージ出演があり、いずれの舞台も熱気あふれる素晴らしい発表でした。ご覧になった市民の多くの方々より感動の言葉をいただきました。会員の皆様方が、日頃、努力された結果だと思えます。

文化協会の更なる発展を

ステージ委員長 大木 福男

プログラム編成では、それぞれの部門の皆様に、ご理解とご協力をいただきました。

第八回に向けては、各役員さん方との反省会を実施しました。改善しながら、文化協会の更なる発展に努力したいと思えます。会員の皆様方のご指導とご協力を心からお願い申し上げます。



パッチワーク



左宮アート



盆栽



書道



かすら染



日舞

第7回 阿蘇市文化祭



詩吟



詩吟



社交ダンス

第7回 阿蘇市文化祭

三会場で頑張りましょう

展示委員長 石川 錦弥

明けましておめでとございます。
 昨年の文化祭も皆様のご尽力により、盛大に開催することができました。開催場所も初の試みとして三会場にし、各々素晴らしい作品群が展示されました。
 あそ街角ギャラリーについては、場所等に不安があったものの初回で三百名程のご来場がありました。
 今年の文化祭も場所は三会場とし、華々しく開催したいと思えます。昨年の反省点を改善し皆様共々頑張りて行きたいと思えますので、変わらぬご支援を宜しくお願いいたします。

正直なところ驚きと感謝で一杯です。
 今年の文化祭も場所は三会場とし、華々しく開催したいと思えます。昨年の反省点を改善し皆様共々頑張りて行きたいと思えますので、変わらぬご支援を宜しくお願いいたします。

会員活動を紹介します!!

朝ドラの『おひさま』と私

短歌 松本ユリ子

今年の夏はじめて熊日の随想に投稿しました。「陽子先生に重ねた人生」と題して朝の連続ドラマの『おひさま』に感動し、振り返った想いで文でした。ヒロインの陽子先生は私そのものでした。十月三日の随想を読まれた沢山の方々から電話やお便りを戴き、「切り抜いています」「私達と同じですね。一等等々戦前戦後の同じ時代を生き抜いて来られた方々なので色々な想いが浮かび懐かしんで下さったものと思います。其の時代の苦勞を思い又、其の中で喜びも思い出して戴けた事でしょう。此の波紋に

投稿した事による喜びを感じました。いろんな想いが次々と浮かびます。麦の多い麦御飯、サツマイモに米粒がくっついてる様な芋飯を子供達と分け合って食べたり、固くなった団子と取り替えて食べたり、それも今ではなつかしい宝物のような思い出です。時々教え子達から「先生元氣ですか」「笑ってますか」と優しい便りが届きます。「笑ってますよ」「ボランティアしてますよ」と返事を書くのが楽しみです。母親のように、姉のように慕ってくれる可愛い教え子達のしあわせを折り乍ら、そして励まされ乍ら、笑って楽しんで、今の人生に感謝し乍ら生きて行きたいと思っています。

ホンタカース阿蘇 古居 孝蔵



「街角ギャラリー」で絵画展 一宮絵画教室 阿蘇絵画「火曜会」の絵画展

ホンタカース阿蘇 古居 孝蔵

毎日見ている阿蘇の景色から受ける感動を忘れていません。食事をする時、雰囲気や景色がいと味もよくなります。一生懸命描いた絵には力があります。私達の店には、そんな素晴らしい街の画家達の描いた絵が飾られています。

阿蘇の大地に包まれて心の食事をしてみませんか。

こぶしキルト教室十周年記念作品展

生涯学習から始まり、佐藤スマ子先生のご指導で、結成以来十周年を迎えました。記念して、四月二日から六日まで、国立阿蘇青少年交流の家、談話棟三室五日間貸し切りで、十周年の作品展を実施しました。

三三〇点出展し、三百点ほど販売もしました。五七五名の皆さんに見に来て頂き大盛会に終了することが出来ました。

当初ほとんどの生徒が初心者でした。針を使った事が無い生徒もいました。



徒もいました。小さなバッグから始まり、現在では、二メートル四方の壁掛も作れるほどになり、月二回二時間針を持つ時間をみんなで楽しんでいます。

事務局だより

我が文化協会の年間最大行事である「第7回阿蘇市文化祭」も成功裏に終了しました。会員皆様のご協力を感謝いたします。

今年には本部役員の改選の年であり四月二十三日の総会で会長・副会長全員が新任となりました。

小嶋(新)会長のもと新たな体制で、本年の事業計画に基づき「博多座の観劇(一般研修)」、「第十六回観月茶会」、「第七回文化祭」などを実施してまいりました。四

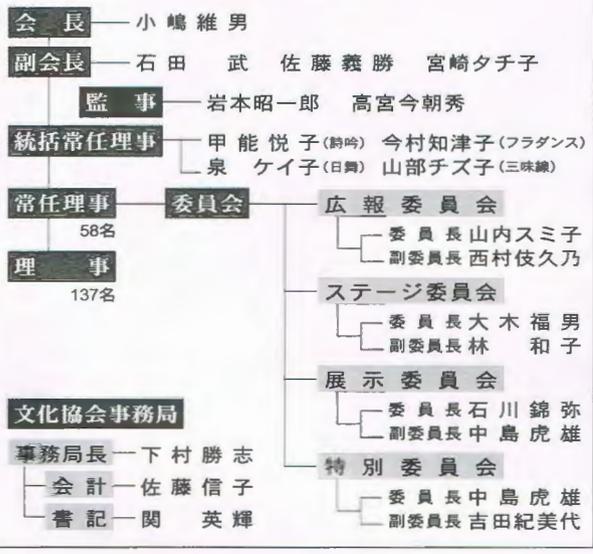
月の総会当日には、東日本大震災の影響で延期された二十二年度事業の「文化講演会(当初計画三月十二日)を開催、阿蘇たにびと博物館長梶原宏之氏が「阿蘇のことが面白い」と題して講演され内容は感銘深いものでした。

本年の事業計画(総会決定)の中で大きな変更点は、広報紙「噴煙」の発行回数が年二回から一回のみとなったことです。協会の年間予算の削減で止むを得ないと判断でした。しかし、春の総会内容から秋の文化祭

紹介まで、年一回の「噴煙」発行ではタイムリーな情報提供とはなりません。現在「噴煙」は阿蘇市内全戸配布という最高の姿を実現しています。広報委員会/文化協会事務局は、会員はもとより市民からこころまことにされる「噴煙」にすることを目指して一層の工夫をしてまいります。その中でもう一度、年間発行回数の増加を実現していきたいと考えています。

「噴煙」に更なる会員各位のご協力とご意見をお願いいたします。

阿蘇市文化協会組織構成図



広報委員会 編集後記

新年おめでとうございます。本年度から年一回発行になりました噴煙がやっと皆様の許へ届くことになりました。

主として文化祭の様子が書かれていましたが、僅かな紙面から活動の状況が何われ、皆様の熱い意気込みを感じました。ステージ展示部門共に素人の域を脱したすばらしいものばかりでした。

今後皆様元気で精進されることを念じています。

山内 スミ子 首藤 雅子
西村 伎久乃 今村 由里子
市原 ふみを 小島 かず子
森 トミ

会員募集

阿蘇市文化協会では、平成24年度の会員を募集しています。地域で活動されている文化サークル、グループ、個人的に活動されている方、この機会に入会され、阿蘇市文化祭で発表されてはいかがでしょうか。24年度の会員受け付けは5月末締め切りです。なお、申し込みは随時受け付けています。連絡をお待ちしています。

＜連絡先＞ 阿蘇市文化協会事務局
TEL(0967)22-2223(下村)